

前のビルを改修する時にね  
今までの四角い窓の代わりに  
ちよこつと角の丸い窓をいれた  
昭和49年やったかな  
ライトもその時やわ

麻雀ニュー三共

親父がここでサンパウロという  
コーヒー豆屋をやってましてね  
なかなか粋な店でした  
その時の面影の看板が  
今店の上にかかっています

ベンダーショップはくさん

これ全部冷蔵庫  
横手からレールで品物吊って  
中に入れるんです  
壁のタイルはうちの家紋ですねん  
剣なしのカタバミ

肉のさかもと

玄関のタイルは  
喫茶店当初からのものです  
京都の感じのええ外観の店を  
参考にしたんやね  
デザインするの好きだから、私

喫茶ブラザー

この看板は村上三島先生の  
若い頃の作品なんです  
木製のは貴重らしいですよ  
屋上の釣鐘はFRP製で  
給水塔にかぶしてあるんです

釣鐘屋本舗

以前はこの横幕張ったりしてました  
これうちの紋ですねん  
丸に「つるがしわ」  
鳥の鶴やなくて植物の蔓  
「蔓柏」やね

吉屋

この丸い天井が特徴的ですね  
内装工事の人は  
かなり苦労してはったみたい  
このシールはお客さんが貼ったの  
フェスゲ開業の末等くじですって

喫茶サン

もとは南陽演舞場という  
タイル張りの洋風建築  
昭和五年築  
アールデコ調の飾り丸窓と  
張り出し窓が特徴

新世界国際劇場

このマネキンは古いです  
40年ぐらい使っています  
今のは少しスタイルが違います  
このお店に建て替えたのは  
25年ほど前になりますか

井上洋裁店